

独立行政法人国立文化財機構契約監視委員会（平成 29 年度第 1 回）議事概要

開催日及び場所	平成 29 年 12 月 6 日（水） 東京国立博物館平成館第 2 会議室	
出席委員 （敬称略）	○委員長代理 久留島 典 子（独立行政法人国立文化財機構監事） ○委員 日 高 和 繁（株式会社三越伊勢丹三越日本橋本店営業計画部長） 山 田 美代子（公認会計士）	
審議対象期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日 ※平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（随意契約見込）を含む。	
個別審査対象案件	100 件	○議 事
平成 29 年度（4～9 月期）契約 （前回競争性のない随意契約）	2 件	1. 平成 29 年度（4～9 月期）契約点検（前回競争性のない随意契約） 2. 平成 29 年度（4～9 月期）契約点検（前回一者応札・一者応募）
平成 29 年度（4～9 月期）契約 （前回一者応札・一者応募）	4 件	3. 平成 29 年度（4～9 月期）契約点検（競争性のない随意契約） 4. 平成 29 年度（4～9 月期）契約点検（一者応札・一者応募）
平成 29 年度（4～9 月期）契約 （競争性のない随意契約）	30 件	5. 平成 29 年度（4～9 月期）契約点検（その他案件） 6. 平成 29 年度（下半期見込）契約点検（前回競争性のない随意契約）
平成 29 年度（4～9 月期）契約 （一者応札・一者応募）	15 件	7. 平成 29 年度（下半期見込）契約点検（競争性のない随意契約）
平成 29 年度（4～9 月期）契約 （その他案件）	46 件	
平成 29 年度（下半期見込）契約 （前回競争性のない随意契約）	該当なし	
平成 29 年度（下半期見込）契約 （競争性のない随意契約）	3 件	

※委員からの意見・質問、それに対する回答、及び審議総括については、【別紙 1】のとおり

質 問・意 見	回 答
<p>1. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（前回競争性のない随意契約）の点検</p> <p>（1）該当の契約 2 件について</p> <p>②「(株) 日立製作所製 X 線 CT 装置 (HIXCT-1M) の点検」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較して予定価格及び契約金額が下がっているが、相手先と交渉した結果か。又は業務内容が減ったものか。 <p>（2）総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度（4～9 月期）契約（前回競争性のない随意契約）について、妥当であると判断する。 <p>2. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（前回一者応札・一者応募）の点検</p> <p>（1）該当の契約 4 件について</p> <p>②「文化財情報ネットワークシステム保守業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ票の 2 「②業務等準備期間の十分な確保」で、「前年同様一週間程度の準備期間であった」とのことだが、改善できなかった理由があるのか。 <p>（2）総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度（4～9 月期）契約（前回一者応札・一者応募）について、妥当であると判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主として業務内容の削減に依るものです。仕様書の見直しの上、検出器センサの点検及び機器の動作テスト等業務を削除し、最低限の点検内容としました。なお、毎年価格交渉も行っております。 ・仕様書等の見直しに想定以上に時間が掛かり、業務準備の十分な時間が取れなかったものです。

<p>3. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（競争性のない随意契約）の点検</p> <p>（1）該当の 30 件について 特段の質疑事項はなかった。</p> <p>（2）総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度（4～9 月期）契約（競争性のない随意契約）について、妥当であると判断する。 <p>4. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（一者応札・一者応募）の点検</p> <p>（1）該当の契約 15 件について 特段の質疑事項はなかった。</p> <p>（2）総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度（4～9 月期）契約（一者応札・一者応募）について、妥当であると判断する。 <p>5. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（その他案件）の点検</p> <p>（1）該当の契約 46 件について</p> <p>③「奈良文化財研究所清掃等請負業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> 安価で契約することは重要であるが、業務が希望通りであるか関する必要がある。 <p>（2）総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度の（4～9 月期）契約（その他案件）について、妥当であると判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望通りでなかった場合には、翌年度に仕様書で要件を差し替えたり、チェック項目を設けたりする等の工夫をしています。
---	--

<p>6. 平成 29 年度（下半期見込）契約（前回競争性のない随意契約）の点検</p> <p>(1) 該当の契約なし。</p> <p>(2) 総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度（下半期見込）契約（前回競争性のない随意契約）については、妥当であると判断する。 <p>7. 平成 29 年度（下半期見込）契約（競争性のない随意契約）の点検</p> <p>(1) 該当の契約 3 件について</p> <p>特段の質疑事項はなかった。</p> <p>(2) 総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度（下半期見込）契約（競争性のない随意契約）については、妥当であると判断する。 <p style="text-align: right;">以上</p>	
--	--

当日欠席委員からの質問・意見

質 問・意 見	回 答
<p>4. 平成 29 年度（4～9 月期）契約（一者応札・一者応募）の点検</p> <p>⑨「国際研修 2017『紙の保存と修復』実習指導業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務内容から、一般競争入札が適当であるのか若干の疑問を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで公益性の観点から一般競争入札を採用してきましたが、業務内容を実施できる業者は事実上現在の契約先に限られており、他者の参入は困難です。このような事情を鑑み、今後は事前確認公募等の契約を検討します。

⑳～㉓、㉕、㉗都城発掘調査部の発掘調査に係る労働者派遣業務（計6件）

・応札者数が多い割に落札率が高く、落札業者が分散している点から、表面的に見ると談合を疑われる可能性があるので説明が必要である。

以上

・入札公告を実施した場合、複数業者より申込があるため、落札業者が複数に分散しています。また、今回の契約では対象6件のうち4件が1回目の入札で入札価格が予定価格に到達せず複数回入札を行ったために落札率が高くなっています。また、これらは発掘調査の労働者派遣業務であるため、入札は1人当たりの派遣単価で行っています。この場合、予定価格（単価）の設定が適切に行われていれば、人件費が主な要素であることから、予定価格と入札金額との大きな差は生じにくい性質の業務であることが考えられます。奈良文化財研究所では談合を防止するために入札説明会を実施しておりません。また、不正行為が疑われるような情報は確認されておりません。